

学校評価結果について

広陽小学校

令和4年9月吉日

秋涼の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、学校では、子どもたち一人一人が成長し、よりよい学校とするために、児童アンケート・保護者アンケート・教員アンケートを基に学校評価を行っています。前期の結果と改善策、保護者・学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見をお知らせいたします。

○アンケート結果より

	重点取組	指標・評価観点	評価方法	評価結果	分析と改善策
				前期	
学校経営	・子どもたちは学校で楽しく過ごしている。	・安心して学ぶことができる居場所づくりをしている。 ・安心して学んでいる。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	100%A 90%A 90.7%A	質問①「嬉しかったことはどんなことですか」の問いに対し、「分らなかった問題が自分の力で解けるようになったこと」「テストで100点をとったこと」「プールの授業でのびのびが出来るようになったこと」「先生や友達に褒められたこと」等の回答が見られました。また②「楽しかったことはどんなことですか」の問いには「広陽シャトルボールが楽しかった」「委員会の企画が成功したことが楽しかった」「合宿でお泊りできたこと」等の回答が見られました。 2学期以降も①安心して学び、わかる授業を実施すること②コロナ禍ではありますが十分な配慮のもと人と関わることを大切にしながら指導を行っていきたくと考えます。
学習（進んで伝え合う子）	・ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業を行っている。	・ねらいに合わせた児童の具体的な姿を設定している。 ・児童が学びや変容を自覚できるように、まとめや振り返りを書く場を設定したり、活用問題の場を設定したりしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	92%A 87.8%B 88%B	ねらいや授業後の目指す児童の姿を意識して授業を行うことはできていました。しかし、授業後半では、活用問題まで十分取り組めなかったり、自分の言葉でわかったことを書いたりするまでには至っていません。そのため、「よかった！」「できた！」という達成感にまではながっていません。学年会での教材研究では、引き続き重点単元を中心につけたい力や目指す児童の姿について共通理解を図り、授業を行っています。また、授業後半の場面の充実にも力を入れ、まとめ・ふりかえり・活用問題に取り組み場面を確実に設定し、児童の「よかった！」「できた！」という達成感や変容が自覚できるよう取り組んでいきたくと考えます。
	・家庭学習の具体的な学習方法を具体例を挙げながら教えている。	・家で計画を立てて勉強をしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	91.3%A 84%B 84.7%B	毎日学校から出ている、音読・漢字・計算等の宿題について、家庭学習の習慣は概ねついてきていると感じています。しかし、宿題をやり切ることが出来ない児童もおり、「おうちでばっちり週間」等を活用しながら、家庭と連絡を取り合い励ましの手助けを継続していきたくと考えます。 自学ノートの活用については、個人差が大きく、自学ノートの活用方法について、指導していきたくと考えます。
生徒指導（思いやりを形で表す子）	・自分から目を見て笑顔で明るい声で友だちや先生や地域の方、来校者に挨拶をする。	・先生や地域の方、来校者にあいさつをしている。 ・自分から明るくあいさつしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	86.2%B 84.6%B 84.2%B	教師や来校者へ自分からあいさつできる児童が増えています。しかし、教師から目を見てあいさつをしても、児童のあいさつの声が小さいという実態もあります。 地域の方から、学校でのあいさつと集団登校時のあいさつにズレがあり、相手に関係なく笑顔で明るい声であいさつできるようになってほしいというご意見もいただいております。 「あいさつの意味・目的」について話し、考えさせ、児童自身に「あいさつの意味・目的」を実感させていきたくと考えます。 また、担任がことあることに見守り隊の方々の活動が「当たり前でない」ことを児童に感じさせていく働きかけも行っていきたいと考えます。
	・子どもたちは、いじめられたり無視されることなく、安心して過ごしている。	・子どもとの関係づくりに努めている。 ・学年、チームで連携していじめ問題の解決を図っている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	100%A 87.4%B 92%B	アンケートの聞き取りを丁寧に行い、内容を学年で共有したり、未然防止の観点のアンケートを学校全体で把握すること、その結果を月ごとの点ではなく、1学期通じての線で見えるようにすることで心の状態を把握するように努めてきました。また、たてわりの教員が担当児童を意識的に見ていく様な体制も整えています。しかし、10人に1人が安心していないという状況は重く捉えています。2学期以降はさらに①たてわり・クラブ・委員会の教師による担当児童への日常的な声かけ②素直な児童に〇〇カードのプレゼント③帰りの会での「今日のナイスさん」コーナー等の実践がいじめ予防の観点からどのような意味があるのか共通理解を図り、取り組んだ後は、振り返りを行い、全体にフィードバックさせていく予定です。 また、9～10月生活目標の「言葉遣い」の取組を進めていくことで「言葉の力」で安心感を広げていきたくと考えます。
特へたく健なま康やし体か子育で	・目標に向かってのびのび運動する。	・体育の時間に全力で取り組めるように目標を提示している。 ・目標に向かって一生懸命体を動かしている。	教職員アンケート 児童アンケート	89.4%B 93%A	体育科の授業を中心に、課題や目標に向かって運動ができています。教職員も児童もどちらも前回よりも伸びている傾向が見られるのは、日頃から目的をもって運動できている成果だと考えられます。後期も、引き続き継続的な取り組みを行っていきます。自己肯定感を高めていくためにも、児童のがんばる過程を認める声かけが大事であると考えます。
地域・保護者	・各種便りやホームページなどを通じて、保護者への情報発信に努める。	・各種たより(学校便り・学年便り・保健便り・図書館便り・給食便り)を月1回出している。 ・学年便りに写真を掲載している。 ・ホームページは月1回更新している。	教職員アンケート 児童アンケート	91.3%A 82.8%B	前期HPIに力を入れました。月5回以上更新しています。今年は田んぼの様子を更新し、学習コンテンツの要素を増やしました。保護者がもっと閲覧できるように学校だよりもHPアドレスを加えて紹介していきたくと考えます。

○保護者(自由記述)より

・ **今年の夏は暑くなるので熱中症が心配です！**

- 9月は暦の上で秋になっても暑さが続く時期であり、熱中症リスクは引き続き非常に高くなることが考えられます。本校では、熱中症予防のためのポイントとして以下の3点に留意しながら教育活動を進めて参ります。
 - ①**熱中症警告アラートを活用します** アラート発表時には、外での運動(体育の授業や休み時間)は中止いたします。また、のどが渇く前に水分補給をするよう指導します。
 - ②**エアコンを使用します** 熱中症は室内でも発生し、命に関わる問題です。無理な節電をせず、エアコンを使用します。
 - ③**マスクをはずします** 屋外ではマスクをはずすよう声掛けを行います。※登下校等、近距離で会話をする際はマスクを着用します。
- ・ **学校だよりの写真が白黒なのが少し残念(経費の問題でしょうか…)**

授業で使用する資料を印刷する際は、少しでも分かりやすい資料となるためにカラー印刷をしており、そこに多くの印刷経費を割いております。学校だよりに関しては、引き続き白黒印刷となってしまいますが、ご理解の程よろしく願致します。尚、学校ホームページには、児童の活動の様子(カラー)も記載しておりますので、ぜひご覧ください。

○学校関係者評価委員会より

- ・ 子どもたちは先生の顔を見ながら、きちんと聞いていた。
- ・ (特別教室へ移動した後の)不在教室がとてきれいだった(机・椅子の整頓)。
- ・ 創意工夫のある図画作品が多く見られた(ユニークなタイトル◎、児童の心の在り方が作品に反映される◎)。